



てんのう もり ●天王の森古墳

直径約20mの円墳で、墳丘では埴輪片が採集されていますが、調査がされていないため詳しいことはわかりません。墳頂部は現在天王社の社殿になっています。

しぶのまるやま ●渋野丸山古墳

徳島県最大の全長105mの前方後円墳。盾形の周濠や段築、埴輪列などをもち、畿内で大型古墳が多く造られた古墳時代中期に築造されました。平成21年2月に国史跡に指定されています。



いわや ●岩屋 古代の居住跡であるという伝説が残る岩屋。中には石仏があり、古くから信仰の対象となっていたようです。

いよおうじだいこんげん ●伊予王子大権現

元寇などで活躍した伊予(愛媛県)の有力豪族河野氏の先祖を祀った神社。一帯に残る伊予王子という地名は河野氏の先祖と伝わる人物の別名で、戦国時代に河野氏がこの地に移り住んで没したという伝説にちなんだものです。



●マンジヨ塚2号墳

直径30m前後の円墳と想定され、盗掘を受けていない石室が残存していることが確認調査でわかりました。調査では円筒埴輪、家形埴輪などの破片が出土し、その年代や立地などから渋野古墳群の中でも最も古い、古墳時代前期後半に造られたと考えられます。



きょうづか ●経塚

辻西のおくの小高い山上に石積み塚があります。大正期に郷土史家らにより発見され、周辺では埴輪片が拾えたといひ、古墳であった可能性も考えられます。



しぶのさんばそうおど ●渋野の三番叟踊り

小学生による踊り子、青年十余名による囃し方によって演じられる神前行事で、毎年11月3日に八幡神社に奉納されます。市指定無形民俗文化財。



しんぐらづか ●新宮塚古墳

直径12mの円墳で、昭和27年に箱式石棺が発掘され、鏡や玉類・鉄剣等の副葬品が出土しました。



# しぶのまるやまこふん 史跡 渋野丸山古墳について

平成21年2月12日国史跡指定

渋野丸山古墳は徳島平野南部を流れる多々羅川左岸の丘陵先端を切ってつくられた前方後円墳です。古墳の一部は削平されていますが、発掘調査によって墳丘の全長は105m、周濠を含めると118mであったことがわかりました。墳丘は主軸を東西に向け、三段に築かれていたと考えられますが、現在一段目は完全に埋没しています。県内最大の前方後円墳で、四国でも香川県さぬき市の富田茶臼山古墳に次いで第二の規模を誇ります。

発掘調査では葺石、埴輪列、造出、周濠などが確認されました。埋葬施設は調査されていませんが、レーダー探査では石室や盗掘坑とみられる反応が認められています。出土した埴輪から、古墳時代中期前半（5世紀前半）につくられたと考えられます。




渋野丸山古墳は、その大きさや埴輪の数が徳島県内の他古墳に比べ突出していることや、墳丘の形が当時の政治の中心であった畿内地方の影響を大きく受けていることから、阿波地域における中心的人物の墓であったことがわかります。また、渋野丸山古墳を最後に県内では前方後円墳がつくられなくなることから、古墳時代の社会・政治的にも非常に重要な存在であるといえます。

徳島市では古墳の整備に向けて検討を進めています。現在草刈などの環境整備は渋野町文化財保済会の協力のもと地域の皆さんによって行われています。



埴輪列と葺石（調査時の様子）

## 古墳へのアクセス

- 公共交通機関で 
- JR徳島駅前から、徳島市営バス渋野方面行きで約25分  
終点「渋野」停留所から200m
- JR牟岐線「地蔵橋駅」からタクシーで約12分（5 km）
- お車で 
- 神戸淡路鳴門自動車道または高松自動車道「鳴門IC」から国道11号線経由で約45分（22 km）
- 徳島自動車道「徳島IC」より国道11号線経由で約30分（13 km）
- 駐車場 
- 渋野公民館の駐車場または八幡神社西側の町営駐車場をご利用ください。

## 案内図



発行：徳島市教育委員会・渋野公民館  
連絡先：徳島市教育委員会 社会教育課 tel.088-621-5419



国史跡

# 渋野丸山古墳

## 周辺散策マップ

